

徳沢テント泊体験レポート & 記録

1) 2泊3日の間に天候が変わり、特に雨天時は大変貴重な経験となりました。

1日目、集合した松本駅で雨。すぐにバスに乗れるからと雨対策をしなかったが、上高地に到着したときには雨量も強く、レインウェア、レインカバー等をしておくことも考えておく必要があったと反省。ザックの中に大きめのゴミ袋を入れて浸透防止することも覚えておきたい。マット持参の方は袋に入れて雨対策。

徳沢までは雨。フードかぶっているので視界も狭く声も聞こえにくい。テント張る際にも小雨となり、スムーズな行動が求められる。テント張った後は、ずっと天候悪く同室の市川さんとお話して過ごす。日が落ちると暗くなるので夕食準備は早めにする。皆さんとお話する機会がほとんどなく残念。夜8時には就寝。雨風が強く、騒々しくて寝つけない。シュラフは寒さを感じず快適。毛布を借りて雨に濡れるのを防いで防寒にもなりよかった。

2日目、6時起床。余裕あると思いきや朝食等もあって7時集合にギリギリ。荷物をテントに残していけるのは有難い。晴天に恵まれる。ドライフルーツ、干しいもが満足感もあり行動食に適していた。紅葉シーズンとあって道中混雑して、一定のペースで歩く必要がある。(待機するスペースもない場所もある) こまめに服を脱いで体温調整。進むにつれ紅葉の色づきが変化していき、その度に感動。本谷橋からはキツイ工程となるため、エナジージェルを補食。ガレ場が続き、足下も不安定、段差も大きく足が上がらない。涸沢ヒュッテ着は11時、予定より30分早かった。11年ぶりの紅葉当たり年と言われるだけあって、絵はがきのような彩り豊かな絶景。ななかまどの赤と、周辺に広がる無数のテント。MAX1,000張りにもなるとのこと。夜景も綺麗だろう。この光景を目の当たりにできて感激。名物おでんを賞味。

下山は思いの外早く、景観も味わいつつ徳沢に戻ってから、ソフトクリーム、お風呂で疲れをとる。夕飯は女性メンバーと一緒に。澤藤さんお手製のきりたんぽ鍋が美味しかった。簡単な食事が続いており、野菜などの食材も使えるよう工夫したい。星空を眺めて語らう。

3日目、前日の反省もあり、5時30分起床。これまで気づかなかった明神岳の荘厳な様子に驚き。テント泊で持ってきたほうがいいもの、折り畳み椅子、シート(テント仕舞うときなど一時的に荷物置ける) 小さめの水筒。(登頂時、スープなど飲んで身体を暖められる) サンドルは持参してよかった。

上高地まで自然探勝路をゆっくり散策。初日、雨で景色もほとんど見られなかったので、新鮮な気持ち。午前中は曇り。明神池、河童橋。人気のアップルパイはジューシーで絶品。3日間、体力的にも厳しいかと心配していたが、2日目以外は余裕あるスケジュールで初心者にも参加しやすい工程だった。雨でのテント泊は、戸惑いもあったが、持ち物、行動等を考えるいい経験となった。3日間お世話になった運営委員の皆様、ありがとうございました。ご一緒したメンバーとも交流が深まって嬉しかった。K. M記

2) 10月11日から13日まで上高地徳沢テント泊体験に参加させていただきありがとうございます。

とても良い経験ができました。準備段階の注意点(衣類、食事、寝具、多すぎは自分や他人に迷惑をかけてしまう) 行動時点の注意点(テント設営、テント内での行動、テント撤収方法) 狭い中での過ごし方、雨の日の対応 少しずつ改善をしていきたいです。初日は雨で辛かったですが翌日から天候が回復して涸沢ヒュッテでは綺麗な紅葉を見ることができました。また、最終日も晴れ間に恵まれ帰る際には穂高の山々を見ることができ感動して涙が出ました。(感激)今回は多くの方のご指導と同期の皆様方の助けで活動ができました。ありがとうございました。(ありがとう) I. T記

3) 荷物重かったです。

初めての本格的なキャンプで、いきなり大雨に見舞われました。重い荷物を背負いながら傘を差して歩くのはとても大変でしたが、貴重な経験を積むことができました。軽量化の重要性を痛感しました。

借りたテントはとても質の良いもので、キャンプ場に到着して案内を確認した後、すぐに設営できました。想像よりずっと簡単でした。

初日の夜は風雨が強かったものの、テントの中で聞かれた風と雨の音はホワイトノイズのようで、かえって落ち着きました。翌朝、トイレの前でサル家族にも遭遇しました。

2 日目は軽装で涸沢まで行ったので、18km もあまり負担ではありませんでした。大きな岩が多く、歩きやすかったです。天気にも恵まれ、たくさんの自然風景を撮影できました。次は涸沢からさらに次の山頂まで登ってみたいです。その夜は星空を眺め、温かい鍋をご馳走になりました。もう一つ学んだのは、テント泊ではキャンプ場で一番早く寝る人になるのが一番快適だということです。そうすればいびきで眠れなくなることもありません。3 日目、湿気がたまると帰りのテントが行きより重くなることを初めて知りました。帰り道も運よく雨は降らず、道中たくさんのキノコや北アルプスの写真を撮りました。残念ながらサルにはもう会えませんでした。

次もぜひ上高地に来たいです。

今回のテント泊は本当に楽しかったです。企画してくれた方々に感謝します。S. G 記

4) 準備からドキドキワクワク、何を用意するか調べながら進めることができました。想像と実践は異なり、雨も貴重で、いろいろな体験でき本当に楽しく充実した3日間を過ごすことができました。教えていただける方々のお力、存在はとても大きく感謝です。仲間のいる安心感も改めて痛感しました。ありがとうございました。下山時に転倒した方がいらっしゃった時に周りの方が救急キットを素早く出されており、何が起こるかわからない中、リスクに備えることの大切さが身にしみました。救急キットを見直したいとおもいます。自分を律しながら自然の素晴らしさを感じていきたいと思いました。I. T 記

5) 2泊3日のテント泊であったが、車を使用したキャンプと異なり、準備から大変であった。

登山用のキャンプ泊は決められた容量で、登山できる重さに収めなければならない。使わないかもしれないけどとか、ゆとりをもってとかができない。嗜好的なグッズも制限される。登山グッズは目的、シーン別に軽量コンパクトな物が多数準備されていて、価格もそれなりにかかる。講師から提示された物品リストをチェックしながら揃えた後も大変であった。パッキングも技術が必要で、何回もやり直した。その中でも防水スタッフバッグを利用することで圧縮、色別でパッキングし易くなる点と雨、濡れ物対策という点で良かったと思う。

行動初日は、雨の中の行動となり、これまで持っていたが使用したことのない雨グッズを、初めて使うことになり、登山用のカップ、バックパック、スタッフバッグの雨対策の有能性を確認する事ができた。

キャンプでは、テント場の選定、テント設営、キャンプ場での水の使い方、キャンプ飯、寝床の設営、等の実技を体験した。雨が降っていたので、水が溜まりにくい高くて平な場所を選定する事、周りのテントとの位置関係を配慮する事はなるほどと感じた。

キャンプ飯は初日だけは少し手をかけた物を作ろうと思い、野菜たっぷりのクリームスープパスタをワンパンで調理した。我ながら美味しくできたが、雨天候では、テントの中で、ガスストーブを使用するのには驚いた。雨が降っていることも重なり、テント内がジメジメとなり、不快感が増したが、雨のテントというのも貴重な体験であった。シュラフでの睡眠は、快適と言えるモノではなく、なかなか寝つけなかった。これに慣れるのは、時間がかかりそうです。

涸沢ヒュッテへの山行では、人の多さに驚いた。普段は誰とも遭遇しない山行が多いのですが、インバウンドの影響を大きく受けていて観光地化している事を認識させられた。また、これだけのハイカーを受け入れられるように登山道等を整備していただいた方に感謝いたします。帰路の下りでは、私達の班の後ろにいらしたソロのお姉さまの転倒事故に遭遇した。顔面をぶつけたらしく眉毛付近から大量に出血していて驚いた。他に痛いところがないか聞きながら、ゆっくり起こしてあげる事くらいしかできなかったが、周りのベテランハイカーさん達が、ファーストエイドキットを取り出して、止血等の処置をされていた。私達はこれ以上いても役に立ちそうに無い

ので、先に進むことにしたが、無事に下山できるか心配だった。その後、ベテランハイカーさんと共に下山されている姿を見て安心しました。また、レスキューにも連絡されていて、ベテランハイカーさんがかっこよかったです。あのようなハイカーになれるといいなあと思いました。K. H記

6) テント泊体験充実した内容でした

準備からスケジュール手配など丁寧にご連絡下さりお天気の心配以外、安心して過ごすことが出来ました。1日目はいきなりの荒天、前室でバーナ使用し髪の毛焦がすハプニングもありましたが何とか食事に取り付けました。ホット美味しかったですご馳走様でした

2日目は涸沢ヒュッテの最後の登りが苦しかったですが景色に励まされ絶景が堪能でき感動しました夜のお鍋も初きりたんぽ苦労して運んで作って下さっただけの事があり野外で大変美味しい物でした。

3日目は8人で河童橋まで楽しくお喋りしながら名残り惜しく大好きな上高地ゆっくりすごせました。

運営委員始めみなさん優しい方々に恵まれ本当に良い思い出となりました。来月も又宜しく願います。お忙しい中色々ありがとうございました D. Y記

7) 1日目は雨に降られましたが、雨の中のテント泊も練習として良かったなと思いました。雨ならではのテントの中での過ごし方や大変さを体験できました。2日目は、とても良い天気で涸沢カールまで紅葉を横目に歩くことができ、楽しかったです。3日目は前日の疲れもあり、ゆっくりと上高地を堪能しました。

反省点としては、ごみ袋やレジャーシートなど持っていってれば、地面が濡れたままでも荷物を置きやすく、便利だったなと思いました。朝食や夕食はオートミールと味噌汁やトマトスープなどを食べましたが、オートミールはお腹への負担が大きく、カロリー不足で道中いつもより行動食を食べてしまったので、山行には不向きだったなと感じました。

良かった点としては、衣類など過不足なく、初心者にしては荷物をコンパクトに抑えられたので、取り回しはしやすかったです。きれいな紅葉も見られて、本当に来られて良かったです。O. Y記

